

チャリティーバザーの報告



会員の皆様には日頃より大変お世話になっております。

さて、盛岡 YMCA では、今年も 10 月 14 日(月・祝)にチャリティーバザーを行いました。

当日は、130 名を超える方がご来場下さり、おかげさまで大変活気の溢れるバザーとなりました。

今回のバザーの収入・支出・益金について、益金の送り先である熊本 YMCA の方の声、実行委員として力を貸して下さった保護者の方の感想などについて、ご報告させていただきます。よろしければぜひ、ご覧下さい。

盛岡 YMCA チャリティーバザーにご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

2019 年度チャリティーバザー収支報告

【収入】 10,7609 円 ・・バザー、屋台、喫茶店、ゲームコーナー収入と募金等。

【支出】 45,504 円 ・・食材、店舗販売品、準備費用、送金手数料など。

【益金】 62,105 円

2019 年度バザー益金の使途

今回のバザーの益金はすべて 2016 年 4 月に起きた熊本地震による被災地支援のため、熊本 YMCA へ募金として送金させて頂きました。詳細は下記の通りとなります。

① 地域コミュニティの復興支援

- ・ 仮設団地の支援
- ・ 阿蘇地域の農業復興支援
- ・ 子どもの心のケアプログラム・キャンプ
- ・ 被災児童の YMCA プログラム参加費補助
- ・ 防災・災害対応コーディネーターの育成・派遣
- ・ 支援者のためのケアプログラムの実施

② 熊本地震・被災 YMCA の再建・運営支援

- ・ 「熊本 YMCA」各拠点の施設改修費、運営費、人件費

当日ボランティア参加者

バザー当日、学童や水泳など YMCA の活動に関わる会員の子どもたち、保護者、リーダー、スタッフ、ワイズメンズクラブがボランティアとして向中野センターに集まりました。(内訳は、小学生 14 名、中学生 1 名、高校生 1 名、保護者 1 名、大学生リーダー 1 名、スタッフ 5 名、ワイズメンズクラブ 2 名の合計 37 名となります。)

バザーコーナー、屋台コーナー、ゲームコーナー、喫茶コーナーの 4 つのコーナーに分かれ、販売員や接客・調理を元気いっぱい行いました。

中には、元 YMCA の学童や水泳教室の卒業生や、YMCA の学童メンバーの保護者の方なども、当日のボランティアとして参加して下さいました。

YMCA に関わる沢山の人が協力し、楽しく充実したバザーの時間を作り上げることができました。



実行委員として参加された保護者の方より



子どもたちがYMCAで長くお世話になっているので、何かお手伝いできることがあれば、と思っていたところに、バザー実行委員のお話があり、いい機会だと思いお手伝いさせていただきました。これまで子どもが通っていた保育園でのバザーや、小学校PTA活動でのバザーなど、何度かバザー関連のお手伝いをしたことはありましたが、YMCAさんのバザーは初めて。とても新鮮な気持ちでした。そして、何よりこれまでのバザーとは違い、「ああ、これがYMCAの良さなんだなあ」と実感できたことがありましたので、ここで紹介させていただきます。

保育園や小学校PTAバザーは、子どもたちが主体とはいえ、あくまでお客様。でもYMCAバザーは、子どもたちも当日はスタッフとして一緒に手伝います。この裏方として一緒に手伝うことは、子どもたちにとっていい経験になるなあと感じました。レジで計算を間違っちゃいけないという緊張感、焼きそばや豚汁に割り箸を忘れずに添えるという心配りなど、大人では普通に思えることも子どもたちにとっては、ひとつひとつが大変なプレッシャーに違いありません。でも、難なくこなせるのは、そばで一緒に見守ってくれるリーダーやスタッフのおかげです。それほど緊張することもなく、自然な心配りで、いつの日か一人でできる日がくるように、小さな「できた」を積み重ねられるのが、YMCAバザーの良いところだと感じました。

一緒にスタッフとして参加した息子に感想を聞くと、「大変だった」とか「疲れた」とか、簡単な感想ですが、その言葉の裏にはいろんな経験をしたんだなあと感じます。小さな「できた」がどれだけ積み重ねられたか楽しみです。また機会がありましたら、子どもと一緒にお手伝いできたらいいなあと思っています。本当にありがとうございました。

チャリティーバザー 熊本地震支援へのお礼

熊本地震から3年7ヵ月が経過しました。熊本地震後も多くの災害が発生し、困難な中にある方が多くいらっしゃる状況の中、熊本の事を覚えてくださって本当に嬉しく思います。多くの支援が新たに発生した災害に移行していますが、未だ仮の住まいで生活をする方が熊本県内で約6,300名(11月22日現在)いらっしゃいます。

この度いただいた益金は、主に被災地域の子どものためのケアのために活用させていただきます。東日本大震災で被災され、熊本へ避難していた子どもたちのケアプログラムとして始まった「あそぼうキャンプ」が、継続して夏休みに熊本YMCA阿蘇キャンプ場で開催されました。現在は九州北部豪雨災害、熊本地震での被災した子どもたちも含め、今年度も8月23日から25日、2泊3日で開催し、37名の小学生を招待できました。

年々募金が減少する中、キャンプ運営費が課題となっていますが、盛岡からのあたたかい支援に、まだまだ子どもたちのケアを続けて頑張らなければ、と励まされました。本当にありがとうございました。

(熊本YMCA 丸目陽子)



今年も多くの皆様のご協力があり、会場が沢山の笑顔や活気の溢れる場となりました。また、熊本の方々への支えとすることができました。この活動が来年度、再来年度と少しずつ広がり、皆様にとって価値のある時間・場となっていくこと、今回の益金が、多くの方々の助けとなることを切に願っております。改めて、バザーに関わって下さった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

(盛岡YMCA 向中野センター スタッフ 尾形裕一郎)